

● 家庭・地域教育学級

「宮前親子学級」 企画委員募集

子どもの自ら育つ力を信じ見守る子育ての大切さを学び、地域でつながっていく事の意味を考える、宮前親子学級の企画委員を募集します。月2回程度の企画委員会を行い、9月から毎週木曜日、全15回の講座を開催します。毎年、子育て中のお母さん達が参加し、楽しみながら企画、運営しています。

興味のある方には、学級の趣旨や内容についてご説明します。お気軽にご連絡ください。

みやまえJAM2023

じゃんじゃん (J)、集まって (A)、学びあおう (M) を合言葉に絵画、書道、工芸、料理、着付けなど様々な分野のサークルが一年間の活動の成果を発表します。

大ホールでは歌謡、合唱、演奏、ダンスなどの舞台発表、書道、絵画などの作品展示や活動を体験できるコーナーもあります。

日時 5月13日(土)、5月14日(日)
10時～16時
会場 宮前市民館
申込 開場へ直接

宮前市民館ギャラリー

展示期間	催し物	団体名
3月31日～ 4月5日	アトリエどんぐり 作品展	アトリエどんぐり
4月7日～ 4月12日	みやまえ子供アトリエ 作品展	みやまえ子供アトリエ
4月14日～ 4月16日	ばっきゃクラブ2023 作品展	ばっきゃクラブ
4月21日～ 4月26日	和の書展	和の書
5月12日～ 5月17日	みやまえJAM 2023	宮前市民サークル連絡会



宮前市民館・宮前図書館 開館についてのお知らせ

- 両館共通
休館日…4月17日(月)
- 市民館の開館時間
9時～21時
- 図書館の開館時間
月曜日～金曜日 9時半～19時
土、日曜日及び祝休日 9時半～17時

講座などのお申込み・お問い合わせ

宮前市民館(宮前区役所生涯学習支援課)
〒216-0006 川崎市宮前区宮前平2-20-4
電話 044-888-3911
FA X 044-856-1436
E-mail 88miyasi@city.kawasaki.jp
宮前市民館ホームページはこちら



※新型コロナウイルスの影響を考慮し、流行状況によっては掲載内容に変更がある可能性があります。
※最新の開館情報については、ホームページ又はお電話にてご確認ください。

次回の発行は5月1日です

宮前市民館だより

第247号 令和5年(2023年)4月1日 発行：川崎市宮前市民館



地元発見! スマホを持って旅に出よう

暖かくなってきました。そろそろ動き出しでもいい頃かもしれません。旅行も行ってみたいですね。旅には新しい出会いや発見があります。ワクワクする気持ちを共有しながら、地域でも新しい出会いや発見をみつけてみませんか。スマホも使って、新しい一歩を踏み出してみよう。

日時 5月17日～7月19日(水) 14時～16時
対象 スマホを持つ概ね50歳以上の方 20人
会場 宮前市民館
費用 無料
申込 4月18日(火) 10時から直接・電話・ホームページで(先着順)



回	月	日	曜日	タイトル	回	月	日	曜日	タイトル
①	5	17	水	オリエンテーション	⑥	6	21	水	バス路線図の見方
②		24	水	私にとって旅とは?	⑦		28	水	旅先での体調管理
③		31	水	旅に便利なスマホ機能	⑧	7	5	水	旅の魅力に触れる まち歩きツアー計画①
④	6	7	水	スマホで手軽に写真を撮る	⑨		12	水	まち歩きツアー計画②
⑤		14	水	地元を目を向けてみよう	⑩		19	水	まち歩きツアー発表 これからも地元を歩いてみよう

「夏休み子どもあそびランド2023」

企画運営委員募集!

地域の皆さんが「あそび」を通じて交流する宮前市民館の一大イベントが、8月19日(土)～20日(日)に開催されます。イベントを作る企画運営委員を募集します。一緒にあそびランドを盛り上げませんか?

申込 随時、直接か電話で。



宮前市民館メールマガジン登録方法:

- ①「t-kawasaki@sg-p.jp」に空メールを送信
- ②届いたメールに記載されたURLをクリック
- ③利用規約確認後、配信カテゴリの中から「宮前市民館メールマガジン」を選択→登録情報を入力→「登録ボタン」をクリック

みやまえ子育てフェスタ2023 メンバー大募集



10月21日(土)に開催予定のみやまえ子育てフェスタ2023のメンバーを募集します。

地域で育児を頑張っているお父さん、お母さん、そして子どもたちを応援する子育てフェスタ。

活動を楽しみながら一緒に企画を考えましょう!

子フェスタに参加する団体さんのワークショップやメンバーでの座談会を踏まえながらフェスタのアイデアを考えていきたいと思えます。

今後の日程については市民館HP、子フェスタ広場HPをご覧ください。

ください。

第1回メンバー会議日程 4月21日(金)10時～ 宮前市民館。「子どもとのコミュニケーションについて」の座談会。言語聴覚士柴平さんがアドバイザーです。もちろん子連れでも大丈夫!

みやまえにほんごがっきゅう 宮前日本語学級 (Miyamae Japanese Class)

日常生活に必要な日本語の会話や読み書きをグループで学びます。日本人ボランティアといっしょに話しながら日本語を学びませんか?

場 所 宮前市民館4階第4会議室

対 象 川崎市に居住している日本語を学びたい方(外国人など)

午前コース (Morning Course)

期 間 (Term) 2023年4月14日～2024年3月8日の毎週金曜 (Fri)、年間全32回

時 間 (Time) 10時～12時 対面およびオンライン

費 用 (Tuition) 無料 教材費など実費(年間500円)

申 込 (Registration) 4月14日10時から受付

夜間コース (Night Course)

期 間 (Term) 2023年4月12日～2024年3月6日の毎週水曜 (Wed)、年間全35回

時 間 (Time) 19時～20時30分

費 用 (Tuition) 無料(教材費など実費が必要な場合があります)

保 育 (Childcare) なし

申 込 (Registration) 4月12日19時から受付

※それぞれのコースの開始時間までに会場に来てください。

※申込は一年中受け付けています。

宮前市民館の事業にお申込みの際に、皆様からお預かりした個人情報は、お申込み事業の運営及びそれに関わるご連絡以外には使用しません。無断で第三者に提供することはありません。

「みやまえウィンズ」参加者募集

「みやまえウィンズ」は知的障がいのある方と、サポートするボランティア、市民館がともに作り上げていく集まりです。工作、レクリエーション、クリスマス会、バスハイクなど様々な活動を、みんなで話し合いながら決めていきます。どんな活動になるかは集まったメンバー次第。さあ、今年はどうなメンバーでどのような活動になるのでしょうか。ぜひ参加してみてください。

日 程 5月21日(日)～令和6年3月10日(日) 全10回

※原則毎月第2日曜日(5月のみ第3日曜日、4、8月はお休み)

場 所 宮前市民館ほか

対 象 18歳以上の市内在住・在勤の知的障がいのある方で、市民館や集合場所まで1人で来ることができ、仲間と協力して集団での活動ができる方25人

※同時に宮前区以外の障がい者社会参加学習活動に参加することはできません。

※活動は、参加者の社会参加や交流を目的としています。職員やボランティアは専門的な資格を持っているものではなく、介助等は行えません。基本的な身の回りのことをご自分で行える方が対象です。

費 用 保険代、通信費、活動費として前期(5月)と後期(11月)にそれぞれ5,000円を集金します。※活動日の飲み物等は実費となります。

申 込 事前に電話連絡の上、4月4日～4月19日の間に参加者本人と保護者で、市民館へお出でください。来館時に簡単な面接を行い、申込用紙を記入していただきます。

抽 選 応募多数の場合は4月●●日10時から、宮前市民館2階グループ室で公開抽選を行います。抽選結果は、応募者全員に郵送で連絡します。

「みやまえウィンズ」サポーター(支援ボランティア)も募集中!!

みやまえウィンズのメンバーと一緒に、楽しく交流しながら活動をしてくれる方を募集中!現在、様々な年代の方がサポーターとして参加しています。毎回参加できなくても、途中までの参加でも大丈夫です。見学も可能です。交通費程度のボランティア謝礼をお支払いします。

活動日 毎月第2日曜日(5月のみ第3日曜日、4月、8月はお休み) 全10回

第1回 5月21日(日)(予定)

申 込 随時、直接が電話で。



あるサポーターの声

サポーターといっても
手取り足取りサポートするのではなく、
グループで楽しむ「きっかけ」を
作ることを心がけています。
私も一員として一緒に
工作やバス旅行を楽しんでいます。

特に記載のない限り、主催は川崎市教育委員会です。講師については敬称略としています。

宮前区地域教育会議の活動紹介

子ども会議

2年以上コロナ禍で開催できていない子ども部会主催の子ども会議ですが、2023年2月4日(土)に開催予定でした。しかし、今年度も残念ながらリアル開催を断念することとなりました。

ただ、せっかく開催目前の企画でしたので中止で終わりにするのではなく、今年度は子ども会議のテーマ「みんなで話そう!学校あるある」を各学校に持ち帰っていただき、学校ごとに子ども達に話し合ってもらい、それをまとめてぜひ皆様にお伝えできたらと考えますのであります。

子ども達がリアルで会って話せる場をこれからも模索して参ります。



教育を語るつどい

研究部会主催の教育を語るつどい「川崎市の防災教育について」が2023年3月5日に開催予定です(編集2月現在)。

それに先立ち、研究部会員の勉強会が2022年10月12日に開催されました。身近で実践的な防災対策を川崎市の経験をまじえて、川崎市危機管理本部危機管理部長の大村氏に講義いただきました。大村氏は3月5日の教育を語るつどいにおいても講師としてお招きしています。



川崎市危機管理本部
危機管理部長
大村 博

地域教育会議とは?

地域教育会議のめざすもの

「子どもがいきいき育つまち、おとなも楽しく学べるまち」

行政区地域教育会議

行政区における子どもの豊かな成長の支援や生涯学習の推進を行う組織として、行政区と地域の連携を進めながら、広く地域における教育活動を行っています。また、中学校区地域教育会議の支援と補完を行っています。

委員構成

次のような子どもに関わる機関・団体と住民委員が緩やかなネットワークを活かして活動します。



行政職員のつばやき

今から約20年前、とある市民館長と保勤務の際に、地域教育会議を担当しました。まだ、事務局体制がしっかりとしていない中で、私自身が企画立案や会計・広報活動なども行っていたことを思い出しました。

市民の主体的な活動に対し、担当者を通じて市民館と相互の情報を共有し、より素晴らしい活動ができるよう見守りながら、住み慣れた地域の中で多世代が交流し、地域の教育環境を社会教育の視点で考えていくことが望ましいと考えています。

宮前区の地域教育会議の先進的活動については、当時から存じ上げていましたが、今回、情報部会員として関わることができ、市民の主体的な活動を目的に、また一緒に活動へ参加することができたことは、とてもうれしく、本当に素晴らしい活動となつていて感じました。

宮前図書館長 舟田(地教情報部会員)

編集後記

今年度は、3年ぶりに町内会・自治会への回覧も再開され、地域住民の方々などにも広く地域教育会議の活動をお知らせする情報紙「こみゅにけーしょん」62号を、コロナの影響が色濃く残り各種企画が縮小する中で、何とか年度内に発行することができました!!

取材にご協力頂いた皆様に深く感謝申し上げます。

宮前区地域教育会議 情報部会
曾岡・福田・佐藤・舟田・倉賀野・花田・石堂(担当役員)

こみゅにけーしょん

宮前区地域教育会議

号数 62号
発行日 2023(令和5年)3月発行
宮前区地域教育会議 議長 篠澤 優子
事務局 宮前区宮前平2-20-4(宮前市民館内)
電話 044-888-3911
編集者 情報部会

議長あいさつ



宮前区地域教育会議
議長 篠澤 優子

「コロナ禍」の活動は既に3年経過します。どの会議も、感染防止を考慮しながら開催し、昨年6月9日の「総会」にごぎつきました。

今年度もコロナ感染対策を原則とし、議長会議を4回・運営委員会を8回・役員会を10回開催し、それに伴い各部会でも多くの話し合いをもちました。コロナ感染対策でリモート会議も取り入れました。地教の活動は、人が集まっても成り立ちます。その意味でコロナは、極めて難しい状況です。令和5年度こそ、普通の会議を開催したいと願っています。今後ともよろしく願っています。

「21世紀の川崎の教育を創造する研究会(21研)」の意見交流会が開催されました



2022年21研の意見交流会が開催されました。宮前区のPTA・地域住民・教職員の代表者が参加し、「川崎市の学校に在籍する児童・生徒の居場所について」というテーマで話し合いました。この分科会をはじめのオンラインによる開催でしたが、各グループに分かれて活発な意見の交流が行われました。交流を通して、子どもたちの居場所づくりや、保護者・地域・教職員のつながり、公共施設やフリースクールを詳しく知り活用していくことについて、改めてその大切さを感じる時間となりました。

21研に参加して

コロナ禍となって以来、3年ぶりの開催となった21研。20分科会はオンラインとなりましたが、「子どもたちの居場所」をメインテーマに教職員・PTA・地域住民が活発に意見交換をし、そこには新たな発見や情報があり、立場は違えど「子どもたちへの想い」は同じであるということを再認識できました。また、「議論する」ということの大切さ、素晴らしい時間も改めて感じられ、素晴らしい時間を過ごすことができました。

宮前区地域教育会議 副議長 宮本 太一

コロナ禍で中止となっていた21研の第20分科会が、10月12日に3年ぶりに開催されました。今回は全市統一のテーマ「川崎市の学校に在籍する児童・生徒の居場所について」を討議いたしました。参加者は保護者・地域住民・教職員の皆様でした。地域教育会議中学校区連携部会では、委員を通じ各中学校区の皆様に参加して頂くよう呼びかけを行いました。

討議はオンラインで実施されましたが、参加された皆様の熱い思いが結実した充実した内容でした。

参加者の皆様にはYouTube上で、川崎市内で子ども達の為に活動されているお二人の発言をまとめたビデオを事前に見て頂きました。討議すべき内容を熟考された上で討議に臨まれたことも、白熱した議論の一因ではなかったかと考えております。

宮前区地域教育会議 中学校区連携交流部会 部会長 遠藤 養子

地域教育コーディネーターへのインタビュー!!

国がすすめている地域学校協働本部政策の一環として、地域と学校が双方向で「連携・協働」していく活動の充実に向け、その担い手を地域教育コーディネーターとして設置していくことを推進しています。今回ご紹介する菅生中学校区は宮前地区8中学校区において令和3年にいち早くコーディネーターを設置されました。また宮前平中学校区は今年度8人のコーディネーターを選出されました。そんな2中学校区に取材を快諾していただきましたので紹介いたします。



菅生中学校区



地域教育コーディネーター 山田優・川西咲・生穂穂

現在、菅生中学校区地域教育会議の地域教育コーディネーターの動きは、これから積極的に活動していくためのスタートを切り、さらに何をすべきかを模索しているとのことでした。

始動して1年経過したが、まだまだ手探りの状況でコーディネーターとして具体的に「これがそうです」というような明確な動きはまだ見えていない様子。しかし、すでに菅生中学校区の地域教育会議は各部会の横のつながりも議長はじめよく認識されていることがわかり、川崎市における地域教育会議の理念について理解し、具現化していることを改めて確認できました。

地域教育コーディネーターとして、先ず取り組んだことは、中学校区にある子ども会の活動の様子を各自自治会の方に集まっていたいただき、状況をお聞きしたとのこと。併せて学校教育推進会議の方が

参加する場面もあったそうです。地域教育会議のメンバーでもあり寺子屋事業のコーディネーターをしているといったように、子どもの状況も様々な場面から見ている人がメンバーにいたことがうかがえます。

「地域と学校の橋渡し」というところがまだ見えてこない橋渡しとは何だろうということを探求しているように感じました。

子どもを見守る様々な活動をしているメンバー

このメンバーの方は様々な地域活動を通してこの地域の子どもの様子を見つめています。子ども食堂の活動、寺子屋、中学校区地域教育会議議長…さまざまな活動をバックボーンに持ち、地域を見つめ、どうしたら地域が子どもにとって居心地の良い居場所になるのかを考えているのが伺えました。

地域教育コーディネーターを決める際に

コーディネーターを募りたいと思っていたが、最終的にコーディネーターを決めるには地域教育会議の中で情報共有し、認った上で決めるようにしたとのこと。場合によっては教育委員会の担当セクションに相談し、運営委員会に来てもらい、委員の皆さんの承諾を得るプロセスが必要だと感じたとのこと。

地域の中で繋がる ※「菅生分館だより」の掲載記事より

「おお手づなぎまつり」という地域のお祭りが。人と人がつながって楽しく子育てできる地域をめざして行われるイベント。蔵敷こども文化センター、地域子育て支援センターがお、菅生分館を会場に、模擬店や無料で遊べる場、ステージでは楽器の演奏やダンスなどを通して人がつながる。このお祭りで多世代がつながり、自治会や近隣の商店会の協力も得て、地域の中の子どもに開通する施設や団体が横につながり、実行委員会を中心に進められていることに驚きました。「子どもたちにとって居心地の良い地域を目指して、地域と学校が協働で活動しています。」「大人は生き生きしているか、子どもにメッセージを伝えているか、学校と共に考えようと思いました。この時の取組みが現在の活動を支えているのです。」

この地域教育会議は菅生の地域の中でこのメッセージを具現化している、改めて感じ、引き続き新たな地域教育コーディネーターという役割を担いながら、地域の主体的な活動を継続し、発展させていく姿勢を強く感じました。

宮前平中学校区

地域教育コーディネーターの設置について

コロナ禍において、地域教育会議の役員を中心に何度もオンライン会議を重ね、学校をよく知る学校教育推進会議のメンバーがコーディネーターになることが学校とのスムーズな連携につながると考えました。

中学校区に住まいがある8人が候補となりました。8人全員が小学校、中学校でPTA役員を経験され学校へ関わった経験も多く、それぞれに学校と地域をよく理解している方々です。

地教教育コーディネーターの決定までには前任の鈴木校長と現運営校長とのコミュニケーションが不可欠であり、学校の思いや要望にも常に耳を傾けてきました。加えて、川崎市教育委員会生涯学習部地域教育推進課の西入指導主事、佐藤指導主事には、専門的な立場から適切な助言を頂きました。

当初の話し合いでは、今までと同様の活動に対して謝金が出ることで、逆にコーディネーターの重荷になること等、これまでと違う立場に戸惑う意見が多く、公認等の意見もありました。しかしながら、地域をよく知る人を選出するという観点から2021年度の地域教育会議総会で、役員の見メンバーを校長先生が推薦するという形を了承していただき、活動がスタートしました。



地域教育コーディネーター 金田様

コーディネーターとしての活動

事務局は5校2年で回しています。近年新型コロナウイルス感染症の影響からオンラインを実施することが多くありました。会議をスムーズに実現させるための設備やシステムの構築などもIT関係にお勤めの委員の方に設置していただくなど地域の人材が豊富な点が特徴としてあげられます。また、「地域安全マップの作成」などの行事については、常にコーディネーター間での情報共有を密にして、主催に関しては、全て地域教育会議側から提案する形をとっています。

コーディネーターとして大切なこと

コーディネーター自身が楽しみながら様々な活動に取り組むことで行事の成功につながっていくことや日頃からアンテナを高くして面白いことや興味のあることを積極的に取り入れることが会議の活性化につながると考えています。このコロナ禍で学校と地域教育会議の接点が少なく、顔の見えない関係になってしまった気がしています。まずはオンライン顔合わせを実施し、これを機に各学校とのつながりがスタートしました。以来、それぞれの校長先生から様々な連絡が入るようになりました。地域教育コーディネーターは、小中学校時代に全員がPTA役員を経験しています。自分たちの子どもがそうであったように、今いる地域の子どもたちが健やかに育つために何ができるのかを考えていけるような会議でありたいと思います。

川崎市教育委員会 担当指導主事よりコメントをいただきました!

川崎市には、地域と学校が連携・協働して子どもの豊かな成長を支える「地域教育会議」が中学校区と行政区に設置されています。現在、中学校区地域教育会議では、国が設置を求める「地域学校協働本部」の役割を兼ねる形で整備を進めており、その1つとして、地域の方に「地域教育コーディネーター」を担っていただくことで、地域と学校の橋渡し役などの活躍が期待されています。

各中学校区によって、地域の特色や地域教育会議の運営の仕方などが異なりますので、地域教育コーディネーターの選出について、ご心配、ご不明な点がございましたら、地域教育推進課にご連絡ください。地域教育会議や学校の皆様の声を伺いながら、一緒に考えていきたいと思っています。よろしくお願いたします。

生涯学習部地域教育推進課 西入指導主事



川崎市地域教育会議 生涯学習部の様子(2023年1月)